

事務事業名		生活道路整備事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	道路河川課
	政策	06	身近な生活基盤の充実	係	土木係
	施策	03	暮らしを支える道路網の整備	内線電話	264
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	8款	土木費	計上	
	項	2項	道路橋梁費	実施期間	
	目	3目	道路新設改良費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	快適な道路通行
現状・課題	集落内の生活道路の整備により、すれ違いができるようになる。				
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	市道の整備を図る。			
事務事業概要	集落内における生活道路の拡幅改良、舗装等の整備を図る。				
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容			活動量	
	市道 柳沢7号線 (仮称) 笠倉壁田橋周辺整備			道路改良工事 L=40m 基本計画 一式	

事務イン 事業プ コスト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	13,450,000	17,400,000
補正・流用等		円	4,127,000	0	—	
合計		円	17,577,000	17,400,000	14,400,000	
決算（見込）額 A			円	15,656,207	17,400,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金		円		
		県支出金		円		
		市債		円		
		その他特定財源		円		
一般財源		円	15,656,207	17,400,000	14,400,000	
正規職員数		人	0.97	0.76	0.73	
人件費 B		円	6,240,980	4,895,920	4,702,660	
総事業費 A+B		円	21,897,187	22,295,920	19,102,660	
市民1人当たりコスト		円	512	524	451	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
道路改良率		累計	目標	46.0	%	46.0	%	46.0	%
			成果	45.7	%	45.7	%	—	
道路舗装率		累計	目標	80.0	%	80.0	%	80.0	%
			成果	79.1	%	79.1	%	—	
成果指標と目標値を設定した理由	安全で快適な道路交通の確保を図るため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	地域住民の生活道路における利便性の向上を図る。						

